小田原市報

第114号
発行所 小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人 浦 寅松
定価一部三円
文進堂印刷所

人口	120.912人
男	59.356人
女	61.556人
世帯	24.559
9月1日現在	

本年度さらに内港掘さく 小田原漁港
二級国道の開通は―明年八月の見込み

県営小田原漁港修築事業は、昭和二十五年度着工以来着々整備されつつありますが、本年度は昨年度に引き続き事業費七千六百万円をもつて更に内港掘さくを推進すべく、目下清水建設株式会社により車川の河床掘下げ工事が行なわれております。

これによつて内港の水を車川に排出し、第一期工事区域内で新たに掘さくする一部と昨年度掘さくした箇所は海面以下二メートルまで掘下げられます。

従つて内港は、今までよりも三メートル深くなり、掘さく並びにしゆんせつ土砂五一、〇〇〇立方メートルは、早川沿岸土地区画整理事業や二級国道築造用に使用されます。

一方この小田原漁港修築事業と並行して昭和三十三年度から県営で着工されている二級国道下田小田原線の付替工事は、総延長一、〇六六・三メートルのうち、すでに板橋見付ガードから国鉄沿いに早川右岸までの五八六メートル余（橋梁一六二・四五メートルを含む）が築造を完了しております。

そこで本年度は、早川右岸から二級国道下田小田原線（早川一八〇番地先）まで延長四八〇メートルにわたり幅員一二・七五メートルないし一五・五〇メートルの道路がつくられますが、うち早川駅附近までの延長二四〇メートルは十二月末までに、またそれより二級国道下田小田原線に至る延長二四〇メートルは来年三月末までにそれぞれ築造を終り、明年八月頃には付替区間の舗装工事を完了して全線開通の見込みであります。

なお、車川以東は片側歩道、以西は両側歩道となります。

車川の河床掘下げ工事

愛の鐘が鳴る
10月1日から 正午と午後10時に

子供のしあわせを願う親心をメロデーに託する愛の鐘は、皆さんの絶大なるご協力により、このほど消防署望楼にその設置を完了し、きたる十月一日から鳴らす運びとなりました。

この愛の鐘は、株式会社マジマの請負により工事費約七十万円（うち募金三十二万円余）で、高さ二十二メートルの望楼に取り付けられており、出力一六〇ワットの拡声機と十二個のトランペットフオーンを備え、正午には時を告げるチヤイムを、午後十時には「愛の鐘」のメロデーを市内に流すほか、緊急放送もできるようになつております。

なお、試験放送は九月二十八日から三日間行なわれます。〔写真は望楼にとりつけられた愛の鐘〕

畜産共進会

とき 十月三日、四日の二日間
ところ 城址水の公園

家畜家さんの改良発達を図り農業経営の合理化に資するため、昭和三十四年度の小田原市畜産共進会が、きたる十月三日、四日城址水の公園で開催されますので、農家や一般市民の方々のご観覧をおすすめいたします。

開催要領はすでに関係者にお知らせしてありますが、不明な点は農林水産課へお問合わせ下さい。

共同募金はじまる
運動は十月から三ヵ月間

毎年行なわれている共同募金の月「十月」が近づいてまいりましたが、今年からは「歳末たすけあい運動」を含めて、いままでの募金期間一カ月を三カ月に延長して十二月末日まで、全国的に実施されることになりました。

この共同募金運動は、世の中の不幸をなくし、みんながしあわせであるように……と、国民の一人一人が進んで出し合う寄付金を各種の民間社会福祉事業に配分して不幸な人々の生活をうるおし、その施設を少しでも改善強化するために行なわれるものであります。

本市でも市民の皆さんの理解あるご協力により毎年好成績を収め民間社会福祉事業の推進に大きな役割を果してまいりましたが、このほど本年度分共同募金の目標額が、二八九万円（うち歳末たすけあい運動四〇万円）と決まり、近く自治会長さん又は地区民生委員さんを通じて、募金が行なわれますので、ぜひ市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

国保だより
保険料が確定
十月分から精算額で徴収

国民健康保険法の全面改正に伴い、本市条例も保険料の算出基礎となる市民税や固定資産税は、当該年度（本年度）分を標準とすることに改められました。

ところが条例施行の四月の当初にはまだ皆さんの本年度の市民税が決定しておりませんので、条例に基いて暫定的に前年度の市民税の所得割額と、固定資産税額を標準として、四月から九月までの保険料を賦課してまいりましたが、その後皆さんの本年度の市民税額や固定資産税額が確定いたしましたので、これに基いて本年度分の保険料を算定し直し、十月分以降の保険料で暫定額を精算することになりました。

精算は確定額から暫定額（四月より九月までに賦課された保険料）を差引いた残額を十月分以降に納付していただくことになります。

この場合暫定額を超過する場合は還付いたしますが、その反面昨年と比べて著るしく所得割が増加したような世帯は、十月分からの保険料は九月分に比較して幾分増加することになりますからあらかじめご了承願います。

本年度四月以降新たに国民健康保険に加入された世帯又は被保険者数の増減のあつた世帯は、その翌月から月数にあん分して計算いたします。

被保険者均等割、世帯平等割だけの世帯は暫定額が精算額と同じでありますから調整はいたしません。

売渡予約数まとまる
集荷目標の九八パーセント
34年産米

今年の米は植付期から成育期にかけ比較的天候に恵まれました。一部の地帯では、うんかの被害を受けましたが、八月と九月の台風にも大きな被害を受けず、このままで行けば突発的な災害が起らない限り全般に平年作を上廻る作況が予想されます。

こうした作況と農家の方々のご理解により米の売渡予約も順調に進み九月二十一日予約を締切りましたが、申込数量は一、九〇五トン（一二、七〇二石）という好成績でありました。

この申込数量は当初農家の販売米の全量集荷を目標とした一、九五〇トン（一三、〇〇〇石）に対し、九十八パーセントに当ります。

今後も現在の作柄が持続され、予約数量の売渡しが完遂できるよう生産農家の方々のより一層のご協力をお願いいたします。

一等に 平塚絹代さん
―国連ポスター県コンテスト―

国連ポスター懸賞募集は、小田原支部予選を経た十七点を県本部のコンテストに送りましたが、審査の結果小田原支部の入賞者は次のとおりです。

◇小学生の部 三等一席 鈴木洋子（早川小五年） 三等三席 加藤多恵子（早川小六年）
◇中学生の部 一等 平塚絹代（白山中二年） 三等二席 小山晴子（白山中二年）
◇一般の部 三等三席 中村[illegible]（十字二ノ四五〇）

神谷さん母子が日本一に
「母と子のよい歯」コンクール

厚生省、日本歯科医師会共催による第八回「母と子のよい歯」のコンクール表彰式は九月十九日午前十時から厚生省講堂で行なわれ、市内鴨宮二二五の神谷純子さん（二五歳）、同滝子ちゃん（五歳）が、よい歯の日本一として厚生大臣から表彰されました。

神谷さん母子はさる七月小田原保健所が行なつた管内幼稚園、保育園園児の口こう検診で選ばれ県及び関東ブロック審査を経て、全国コンクールに参加した結果、全国代表二十六組の中から選抜され日本一となつたものであります。

日本一の神谷さん母子

10月の心配ごと相談室
6日 13日 27日
午前9時から 午後3時まで
中央公民館分室
小田原市福祉協議会

鴨宮など四ヵ所に防火貯水槽

防火貯水槽新設工事が、このほど鴨宮地区など市内四カ所で着工されました。

これらの防火貯水槽は、いずれも容積四〇立方メートルの鉄筋コンクリート造り地下式で、十一月中旬には完成の見込みです。

なお、新設場所および工事費（一槽につき国庫補助十万円）は次のとおりです。

◇新玉二丁目一一一番地先（新宿疎開道路入口、伊豆川氏宅横）工事費四十一万円
◇緑四丁目五九一番地先（入谷津竹内氏宅前）工事費三十八万七千円
◇板橋六二八番地先（箱根板橋・市川建設事務所前）工事費三十九万円
◇鴨宮一六四番地先（前耕地道線・魚広商店前）工事費四十万円

10月の納税
市民税 県民税 第3期分
納期限 10月31日
市税は納期限内に納付して下さい。
月末は市金庫窓口が混雑いたしますから早目にお願いします。

日独対抗陸上競技小田原大会
兼 秩父宮賜杯 第5回 一般・学生対抗陸上競技大会

10月24日（土） 市営城山陸上競技場 開場午前8時・開会10時

◇競技種目 男子 19種目・女子 9種目・招待継走

◇入場料
①前売 正面スタンド 120円 芝生（小人）30円
②当日売 正面スタンド 150円 芝生（大人）70円（小人）40円
③団体割引 正面スタンド 生徒30名以上（中、高）1名につき 100円
芝生 児童生徒団体1名につき 20円（小、中）40円（高）

主催 日本陸上競技連盟
日本学生陸上競技連合
小田原市
小田原市教育委員会

内田（100歳）・古見（97歳）さんに市長から平型こたつ

＝としよりの福祉週間＝

「としよりの福祉週間」は、九月十五日から二十一日までの七日間、全国的に実施され、各地でいろいろの敬老行事が催されました。小田原市でも、この週間中には市をはじめ自治会、民生委員協議会、婦人会、青年団、子供会等の協力により市内各地区で敬老行事が行なわれました。

市では、民生委員を通じて満七十七歳以上の高齢者一、三〇一人に市長の祝詞を添えて紅白のまんじゆうをお贈りしたほか、九月十五日現在で満七十七歳に達した方と、七十七歳以上の方で今まで差上げていなかつた方々には、記念品として九谷焼ふた付きの湯のみ茶わんを、また七十七歳から七十九歳までの五七八人には一千円、八十歳以上の七二三人には二千円の敬老祝金をお贈りしました。

特に九月十五日のとしよりの日には、鈴木市長が市内最高齢者、十字四ノ九〇六の内田キクさん（百歳）と小八幡三三九の古見彦次郎さん（九十七歳）を訪問し、県の敬老金六千円と市の敬老祝金二千円に添えて平型こたつを贈り、その長寿をお祝いしました。

古見さんを訪問した市長

人権その他＝法律相談所の開設
（無　料）
10月12日午後1時
中央公民館分室
横浜地方法務局小田原支局
小田原市人権擁護委員

小田原一の健康優良児きまる

県審査会に四名が参加

日本一の健康優良児選出につながる、昭和三十四年度本市健康優良児の審査会は、さる九月七日市内各小学校の六年生と中学校の三年生の代表男女五十六名を、本町小学校に集めて行なわれました。

審査は、市内小中学校の学校医、学校歯科医をはじめ、眼科、耳鼻咽喉科関係の検診医など多数のお医者さんと、各学校の体育主任の先生からなる審査委員会によって代表児童生徒の身体各部の綿密な検査と、運動能力の検査や学業成績を参考にして行なわれた結果、次の十六名が小田原の健康優良児に選ばれました。

◇小学校
第一位　男　丸山克彦（城内小）　女　加藤洋美（酒匂小）
第二位　男　関野秀夫（曽我小）　女　瀬戸奈津代（片浦小）
第三位　男　関野隆司（下曽我小）　女　上野順子（新玉小）
第四位　男　高橋敏男（町田小）　女　古谷幸子（千代小）
第五位　男　竹原一彦（足柄小）　女　内藤恵子（国府津小）

◇中学校
第一位　男　小玉直行（城南中）　女　根本晴江（千代中）
第二位　男　水間治雄（白鴎中）　女　高杉朝子（国府津中）
第三位　男　高梨正次郎（国府津中）　女　舘行尋子（白山中）

なお、小中学生とも第一位になつた四名は、きたる九月二十七日に行なわれる県の審査会に小田原市代表として、参加することになっております。

〔写真は聴力検査〕

好成績の海水プール

楽しい夏の季節に、子供達の人気を集めた市営海水プールとボートは八月三十一日で終りました。

これら施設の売上高は、海水プールが御幸の浜、国府津を合わせて九七八、二三〇円で、昨年より六五、九八四円も増加し今までにない好成績でありました。

一方ボート場は桜の季節に雨の日が多かつたので、五一一、八六〇円の売上を示し、昨年より一二四、二〇〇円少ない成績でした。

みんなで事故をなくそう

十月十六日から秋の交通安全運動

秋の交通安全運動が、十月十六日から二十五日までの十日間にわたり、全国一斉に実施されます。

毎日の新聞やラジオ等で報道されているように、交通事故はますますふえるばかりです。

小田原警察署管内における最近一カ月間の交通事故件数も一五七件（死者五、負傷者一三六、物件損害額約六四〇万円）の多きにのぼつております。

このため小田原警察署では、毎週月曜日を交通安全日と定めて街頭指導を続けるなど、常時事故防止につとめておりますが、本運動期間中は時々街頭指導の強化をはかる一方、安全協会等の協力を得て市内各要所に横断幕や懸垂幕、ポスター等を掲げ、交通道徳の向上をはかるべく、目下その準備を進めております。

そこで市民の皆さんにおかれましても、本運動の実施を契機にそれぞれの立場から次のことを守り交通事故の防止にご協力下さい。

◇歩行者は
右側通行を守り、道路横断の際はよく左右をたしかめ、努めて横断歩道を渡りましょう。特にお母さん方は、子供さんを道路で遊ばせないように注意し幼児は必ず付添つて歩かせましょう。

◇運転者は
スピードの出し過ぎや無理な追越等は危険です。車や体の無理は事故のもとになります。警音器は、危険防止のため、やむを得ない場合のほかは鳴らさないで下さい。

◇自転車の方は
左端一列進行を守り、交通量の多い道路での二人乗りはやめましょう。右廻りの横断は一旦止まつて安全をたしかめてから曲がりましょう。

◇お店の方は
道路へ品物を置かないよう注意して下さい。

◇事業主の方は
道路で仕事をしないよう、また材料を置かないよう注意して下さい。やむを得ないときは警察の許可を受けて下さい。

みんなで考えましょう 市政クイズ 第17回

みんなに楽しみながら市の行政をよく知つていただくため、月一回市政クイズを行なうことにいたしております。奮つて応募して下さい。

問題

今年の共同募金は、「□末たすけあい運動」を含めて十月□日から□月三十一日までの□カ月間にわたり□□されます。

この□□は、すべての国民が協力して集めた□付金を各種の□□社会福祉事業に□□して□□な人々の□□を少しでもうるおすため行なわれるものです。

小田原市でも近く自治会長又は□□委員さんを通じて□□が進められますので、ぜひ本年度も□□額□八□万円を突破できるよう皆さんのご□□をお願いします。

応募規定

1 賞金は二千円、正解者二名以上のときは等分し六名以上のときは抽せんにより五名に等分する（正解者のないときは次回に加算）
2 問題中□は当用漢字（補正漢字を含む）で記入する。
3 応募用紙は官製ハガキ又はハガキ大用紙
4 応募は一人一通に限る。
5 締切は十月十五日（十五日消印あるものは有効）
6 あて先は市役所庶務課広報文書係
7 解答及び正解者は次号の本紙上に発表する。

（注意）応募者は小田原市民に限る◉市の職員とその家族は応募できない

第16回の結果

応募者二〇一名のうち正解者は六〇名でありましたので、抽せんの結果次の五名に賞金四〇〇円をさしあげることになりました。

幸一ノ九〇〇ノ三　吉富和子
十字四ノ九二三　鈴木八千代
久野一、一一〇　鈴木紀子
酒匂三〇〇　鈴木妙子
曽我谷津六二一　隅田靖子

第16回の正しい答

本市では昭和三十三年度において過去三カ年にわたる自主財政再建計画を終了し、長年の累積赤字を解消した上なお約二千二十万円の黒字を生じて健全財政に転換いたしました。

このように短期間に建設的事業を推進しながら赤字財政を克服し得たのは、効率的な財政運営と市民各位の理解あるご協力の賜であります。

しかしながら今後も小田原漁港修築、区画整理事業、道路の整備、市立病院増築及び天守閣建設等の継続事業や、し尿処理場、下水道建設等幾多の緊急事業がありますので市民の皆さんに一層のご協力をお願いします。

海外のお友達からも出品

国際親善児童画展

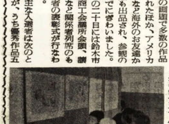
小田原青年会議所主催による第二回国際親善児童画展は、さる九月十八日から二十日までの三日間中央公民館で開かれました。

会場には、小田原市をはじめ、上、下両郡の各小学校から「明るい日本」の画題で多数の作品が展示されたほか、アメリカ、イタリアなど海外のお友達からの作品も出品され、参観の小学生達でにぎわいました。

最終日の二十日には鈴木市長、江島商工会議所会頭、讃原教育長など関係者列席のもとに入選者の表彰式が行なわれました。

なお、主な入選者は次のとおりですが、うち優秀作品五十点は海外に送られる予定です。

日本青年会議所会頭賞　江村尉二（城内小六年）
小田原市長賞　高橋　徹（足柄小六年）
小田原市教育委員長賞　河原章子（足柄小三年）
下郡教育委員会連絡協議会長賞　小暮知彦（芦子小六年）
上郡町村教育委員会協議会長賞　石田博宣（足柄小二年）
小田原商工会議所会頭賞　湯山一美（城内小四年）
小田原青年会議所理事長賞　磯崎　浩（早川小一年）
外に佳作五十点



松井登君が渡米

日本青年海外派遣団の一員として

中央青少年問題協議会では、皇太子殿下御成婚記念事業として、全国の優秀青年約百名を欧米、東南アジヤ地域に派遣することになりましたが、小田原からも市内万年四ノ六六六の松井登君（二四歳）が海外派遣団の一員に選ばれました。

松井君は、アメリカ班約四十名に加わり、きたる十月四日海路渡米し、約八十日の日程で米国各地を訪問し、国際親善の実をあげるとともに米国の産業事情をつぶさに視察して、十二月十七日帰国の予定です。

小田原ケイリン

10月
21　22　23
24　25　26

在日朝鮮人帰還申請受付業務

九月二十一日から開始

※詳細は日本赤十字社神奈川県支部小田原市地区窓口（市役所厚生課窓口一九番）でお尋ね下さい。

好成績を収めた郷土代表

県青年大会終る

さる九月十三日藤沢市県営総合競技場、秩父宮記念館その他の会場において第八回神奈川県青年大会が開催されました。

この大会は、きたる十一月中旬東京武蔵野国立競技場を主会場として開かれる、全国青年大会の予選を兼ねて行なわれたもので、本市からも一二九名の代表が参加し郷土の名誉にかけて健闘、体育及び芸能文化の各部門にわたつて好成績を収めました。

本市関係の主な成績は次のとおりです。（◉は全国大会出場）

◇　◇　◇

◇陸上競技の部
総合　三位
男子総合　八位
女子総合　優勝
◉走高とび　一位　柳川二江（網一色）

◇剣道の部
◉団体戦　優勝

◇柔道の部
◉団体戦　優勝

◇相撲の部
団体戦　四位

◇演劇の部
桜井農村青年演劇研究会　優秀賞

◇音楽の部
下府中青年団コーラスグループ　三位

◇絵画の部
◉飯島冨夫（国府津）　最優秀賞

◇書道の部
◉穂坂令子（下曽我）　佳作

◇写真の部
◉市川智朗（芦子）　優秀賞
◉立木　孝（富水）　佳作

◇手工芸の部
◉中島寿江（片浦）　佳作
◉大倉ちえ（片浦）　佳作
◉代田京子（下曽我）　佳作

◇青年団体機関紙の部
清樹　風祭青年団　優秀賞
青年会だより　下曽我青年会　優秀賞

貯蓄があって実りも豊か
10月17日貯蓄の日

小田原市・神奈川県貯蓄推進委員会